イベント情報

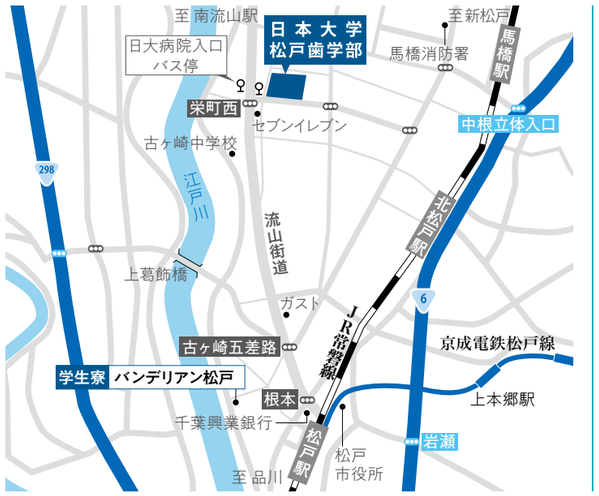
※イベントに関する詳しい情報は
ホームページをご覧ください。

オープンキャンパス
- 5/31（土）
- 7/26（土）
- 8/9（土）
- 10/12（日）※学園祭開催日

体験学習会
- 7/30（水）
- 8/5（火）
- 8/21（木）
- 2026年 3/28（土）

キャンパスツアー
- 4/12（土）
- 5/10（土）
- 9/13（土）
- 11/8（土）
- 12/6（土）
- 2026年 1/17（土）

交通案内



松戸駅
JR常磐線快速・東京メトロ千代田線直通各駅停車・京成電鉄松戸線
▶ 西口 2番バス乗り場（京成バス）「日大歯科病院」行きバス 終点下車（バス 約15分）

南流山駅
JR武蔵野線・つくばエクスプレス
▶ 北口 バス乗り場（京成バス）「松戸駅」行きバス「日大歯科病院」下車（バス 約20分）
▶ 北口 バス乗り場（京成バス）「松戸駅」行きバス「日大病院入口」下車（バス 約15分，徒歩 約5分）

北松戸駅
JR常磐線各駅停車
▶ 徒歩 約20分

日本大学松戸歯学部
〒271-8587　千葉県松戸市栄町西2-870-1
TEL 047-368-6111（代表）　FAX 047-364-6295

日本大学松戸歯学部
https://www.mascat.nihon-u.ac.jp

自主創造 日本大学

日本大学松戸歯学部

GUIDE BOOK 2026

ここから
人の一生を支える
歯科医師として生きていく。

歯科医師になる。
これはゴールではありません。

「口腔の健康は全身の健康を支える」
これは，歯科医学を口腔科学として捉えた，
開設当初から貫く先駆的な考え方です。
つまり歯を診ることは，人を診ること。
噛む，話す，笑う。口が担う役割そのすべてが，
人の尊厳と生の豊かさにつながっています。

ここは，歯科医学の最前線。
国家資格取得を見据えた実践的な教育と，
臨床経験を通し，精緻な技術を磨く環境があります。
なにより，医療人として生涯の使命感を養い，
同じ志を持つ仲間と切磋琢磨できる場です。

口から人の一生を支えること。
この志には，覚悟がいる。だからこそ，
「歯科医師になりたい」ではなく，
「歯科医師として生きていく」。
その決意に，全力で応えます。

教育ビジョン

Oral Science

歯科医師は虫歯を治療するだけではなく，
口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために，
ますます重要となってきます。
松戸歯学部は歯科医学を
「オーラルサイエンス（口腔科学）」と捉え，
医学の一分科としての教育を行っています。

がん予防

唾液には発がん性を減少させる物質も含まれています。清潔で健やかな口腔環境を保つことは，がんの予防にも大切です。

脳の活性化

噛むことは脳の活動を活発にします。自分の歯で噛めることが認知症の予防にもつながります。

感染予防

口はからだの入口です。口腔の清潔が肺炎などの感染予防にとても役立ちます。

消化促進

よく噛んで食べると，食べ物と唾液がよく混ざり消化吸収を助けます。そして，胃腸の負担も軽くします。

体力向上

しっかりと噛むことは歯やあごの発育だけでなく，丈夫なからだづくりの基本です。

口臭予防

さわやかな息は，やさしいエチケット。歯周病や内臓疾患などでは病的口臭が現れます。

豊かな表情

美しい歯は輝く笑顔の主役です。健康な口は豊かな表情をつくります。

松戸歯学部の新たな50年への歩み

日本大学松戸歯学部 学部長
日本大学教授（有病者歯科検査医学）
福本（ふくもと） 雅彦（まさひこ）

松戸歯学部は1971年に開設し今年で創設55年目に入りました。創設50周年の記念事業として新たな校舎棟の建設が計画され，2024年4月1日から新校舎の運用が開始されました。新しい学び舎で松戸歯学部は新たな歴史の一歩を踏み出しました。新校舎に設置されたラーニング・コモンズや自習室等を学生の皆さんが積極的に活用されている様子を見ると，改めて松戸歯学部が新しい歴史を刻み始めたことを実感いたします。

一方，学び舎の変化だけでなく歯科医療を取り巻く状況も大きく変化しつつあります。マスコミ等で報道されていた歯科医師過剰という文言を最近はあまり耳にしなくなったと感じませんか。実際，近年の国の調査でも歯科医師の人数はここ40年で初の減少に転じたことが明らかになりました。また無歯科医地区も増加に転じてきました。今後,我が国の歯科医療を担う人材の確保は急務であることは疑う余地のない事実です。また，これからの歯科医師に求められる能力は従前とは変化してくると考えます。ご承知のように我が国は超高齢社会を迎えています。高齢の方が歯科治療を受けたくても様々な事情で外来受診できないケースが増加していくことは想像に難くありません。歯科のみではなく医科的な診療も居宅や施設等での受診の比率が高くなってくると予想されます。それゆえ，これからの歯科医師に求められる資質は多職種の方々と連携して医療を提供できること，在宅診療に習熟していることが必須となります。この社会状況に鑑み松戸歯学部ではこれまで主体であった病院における外来診療だけでなく，もう一本の大きな柱として訪問歯科診療の充実を図ります。そのために2025年4月1日から「地域医療連携統括センター」を創設しました。訪問歯科診療を含めた地域医療連携は病院診療のみならず，学部教育の柱としても育て上げる所存です。

松戸歯学部は，このような資質を持つ歯科医師の育成・輩出に努めますが，そのためには乗り越えなければならない関門はいくつもあります。その一つは歯科医師国家試験です。その関門突破のために松戸歯学部は様々な取り組みを実施しています。一丁目一番地の施策として国家試験合格率の向上を掲げ，そのためのシステム構築や教員の講義内容の変革を行ってきました。今後も引き続き同様の取り組みをしていきます。2025年度からは，公的化された共用試験，殊にCBTに関しては，1～4年次の各講義において徹底的に対策を講じる所存です。なぜならば，CBTに出題される1～4年次の知識の修得度が，2年後の歯科医師国家試験の結果を大きく左右することが明らかであるためです。

最後になりますが，松戸歯学部で学ぶ学生の皆さんが「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を身に付け，社会に貢献できる歯科医師となることを確信しています。

日本大学教育憲章

日本大学は，本学の「目的および使命」を理解し，本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」，「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ，「日本大学マインド」を有する者を育成する。

自主創造 日本大学

日本大学の理念（目的および使命）

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしない
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ	●豊かな知識・教養に基づく高い倫理観 ●世界の現状を理解し，説明する力
自ら考える	●論理的・批判的思考力 ●問題発見・解決力
自ら道をひらく	●挑戦力 ●コミュニケーション力 ●リーダーシップ・協働力 ●省察力

日本大学マインド

- 日本の特質を理解し伝える力
- 多様な価値を受容し，自己の立場・役割を認識する力
- 社会に貢献する姿勢

松戸歯学部の教育研究上の目的

＊詳細はこちらをご覧ください。

理 念	口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし，それを具現化した「オーラルサイエンス（口腔科学）」の学びを礎に，自主創造の能力を養い，豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち，論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し，歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。
目 標	口腔と全身の健康維持・増進に寄与するために，社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え，あらゆる職種と協働し，地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。
研究指導の方針	教員の指導の下に，歯科医学の発展のために積極的に研究活動に参加し，その成果を国内外の学会へ公表することを通じて，研究力を高め，さらに国際人としてのグローバルセンスを養う。

沿革

1971	●日本大学総長 鈴木勝の構想により，日本大学松戸歯科大学開学 ●初代学長に鈴木勝就任 ●付属歯科病院開設
1973	●体育館竣工
1974	●附属歯科衛生専門学校開校 ●口腔科学研究所設置
1975	●学術雑誌「日大口腔科学」創刊
1976	●日本大学松戸歯学部と改称 ●動物実験研究センター・アイソトープ研究センター竣工
1977	●大学院松戸歯学研究科設置
1982	●組換えDNA実験施設設置（第4共同研究室内）
1989	●日本大学創立100周年記念 松戸歯学部国際シンポジウム開催
1991	●創設20周年記念式典・祝賀会
1995	●MASCAT（学内LAN）センター設置
1998	●マルチメディア歯科教育システム導入 ●松戸歯学部後援会発足
2001	●創設30周年記念式典・祝賀会
2006	●新病院棟竣工，日本大学松戸歯学部付属病院と改称
2011	●創設40周年記念式典・特別講演会
2021	●創設50周年
2024	●新校舎竣工 ●附属歯科衛生専門学校閉校

松戸歯学部 3つの特長

第118回(2024年度)
歯科医師国家試験合格者数(総数) **77名**

1 付属病院と連携した実践的な臨床実習

指導医，患者さん，医療スタッフと関わりながら診療に参加します。付属病院での実習を通じて，知識・技術だけでなく，柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる付属病院は，歯科大学付属病院として電子カルテを国内初導入し，様々な最新検査機器を備え，複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を養成します。

全国でも来院患者数トップクラスの付属病院

来院患者数，年間21万人以上，1日約720人，年間入院患者数延べ約2,400人。全国の歯学部付属病院でもトップクラスの来院患者数を有する付属病院では，患者さんのご協力により豊富な臨床経験を積むことができます。また当院は，国家試験合格後における臨床研修の実施機関として，約70人の研修歯科医の受け入れ体制を整えています。

患者さんを中心とした機能的な医療環境

地上4階の付属病院棟には，歯科治療用ユニット183台，ベッド数31床を備えています。21診療科（歯科17科，医科4科）を機能的に配置し，患者さんを中心とした構造になっています。また，最新鋭のCT，MRI等を有するなど，充実した医療環境を整えています。

地域歯科医療の中核を担う付属病院

付属病院は，口腔の健康は全身の健康を支える「オーラルサイエンス（口腔科学）」の理念のもと，新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い，最新の設備で高度な医療を提供する一方，地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

2 「医療行動科学」でプロ意識を修得

カリキュラムポリシーにうたわれている「対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を養成」の観点から，1～4年次にわたり「医療行動科学1～4」を設置しています。患者さんの声に耳を傾け，その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう，講義や実習を通して患者心理の理解を深め，プロフェッショナリズムを修得します。

3 教職員が一丸となったきめ細やかな学修支援

1年次から4年次までに配置された学修サポート委員と学年担任が，学生や保証人との面談を定期的に行い，成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫などのアドバイスを学生一人ひとりに行います。また5・6年次では，それぞれ10～12名程度の班に2～3名の教員を配置し，臨床実習へのアドバイスや歯科医師国家試験に向けての助言など，きめ細やかな学修支援を行います。

付属病院の診療科紹介

診療部門

【歯科】
放射線科／臨床検査科／病理診断科／
総合歯科診療科／歯科疾患管理科／
口腔機能維持管理科／健康増進歯科／
保存科／補綴科／歯周科／小児歯科／
矯正歯科／特殊歯科／口腔外科／
麻酔・全身管理科／口腔インプラント科／
顎関節・咬合科／地域医療連携統括センター

【医科】
内科／脳神経外科／
頭頸部外科・耳鼻咽喉科／
心臓血管外科

＊詳細はこちらをご覧ください。

松戸歯学部の学び

Study

MATSUDO POINT!

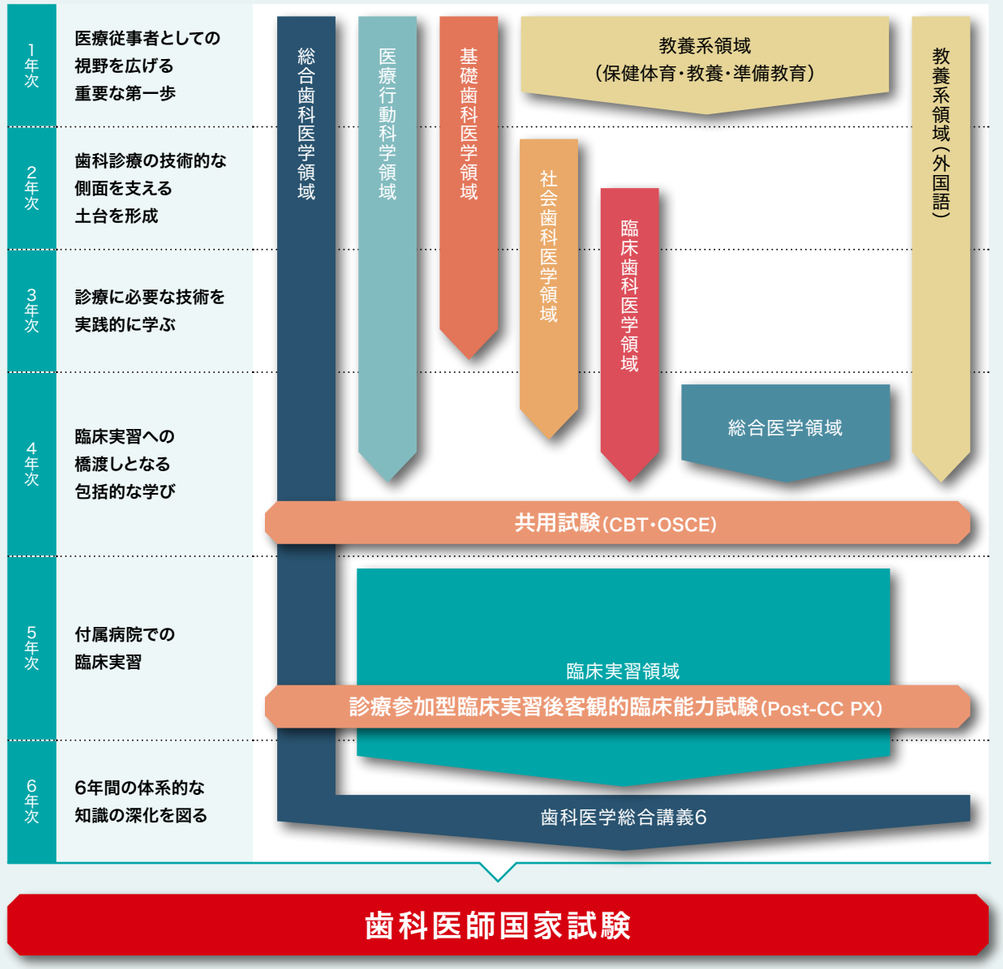
学生教育の質を高める「教育・学修総合センター」

松戸歯学部では「教育・学修総合センター」を設置し，学修を支援する教育システムを構築しています。収集した成績等のデータに基づいて作成した教材を学生に提供し，苦手分野の克服を目指しています。また，全ての試験成績に基づいて分析したデータを学生にフィードバックすることで，学びを確実に進めるためのサポートを行っています。

全人的な歯科医師を養成する教育システム

基礎歯科医学と基礎医学の「学問体系別講義」と，1つのテーマに様々な専門分野の教員がアプローチする「統合型講義」を連携させた総合的な教育体制を敷いています。また，各学年で段階的に知識や技術を修得できる「歯科医学総合講義」を設置し，一人ひとりの学修到達度を確認しながら効率的に学修を進めることができる独自の「歯科医学教育システム」を確立しています。

＊詳細はこちらをご覧ください。



共用試験（CBT・OSCE）

「共用試験」は，実際に患者さんと接する際に必要な知識・態度・技能を身に付けているかを判断する試験で，臨床実習前の学修のまとめとして実施されます。コンピュータを用いて知識・問題解決能力を評価するCBTと，態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験OSCEがあり，この試験に合格すると5年次に進級し，臨床実習に進むことができます。

診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC PX）

「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC PX）」は，臨床実地試験（CPX）と一斉技能試験（CSX）から成り，臨床実習を通して身に付けた臨床能力を評価します。

6年間のカリキュラム

1年次 前学期 後学期 / 2年次 前学期 後学期 / 3年次 前学期 後学期 / 4年次 前学期 後学期 / 5年次 前学期 後学期 / 6年次 前学期 後学期

医療行動科学領域

歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を1年次から4年次まで一貫して学修します。

医療行動科学1〜4

教養系領域

全学共通教育科目
自主創造の基礎 など

教養科目
歯科医学へのとびら，
法学，心理学 など

保健体育科目
保健体育

外国語科目
英語1〜4

準備教育科目
物理学，生命科学，数学

教養系領域 （保健体育・教養・外国語・準備教育）

歯科医師には専門知識・技術だけでなく，幅広い教養も必要という観点から，充実した教養科目群を設けます。日本大学全学共通教育科目「自主創造の基礎1」，「自主創造の基礎2」，「日本を考える」では，大学での学びやこれからの生き方において必要な日本大学教育憲章に示す基礎的素養を学生個々が身に付けることを主眼とします。また，実社会との関連から教養を学ぶ意義への理解や自身の専門分野を学ぶ意識を高め，以後受講する科目等の成果の充実に寄与するものとする。準備教育科目の「物理学」「生命科学」「数学」においては，基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行います。保健体育科目では，歯科医師として心と身体の健康を管理できる能力を育成し，身体機能の維持・増進に加え，社会性の体得と自律した確かな人間性を高めます。

社会歯科医学領域

歯科医療の社会における役割と公衆衛生への関与を学び，科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学修します。さらに講義と実習を組み合わせることで，臨床実習にあたっての，医学・歯科医学の知識と歯科医療の実践との双方を併せ持つ能力を身に付けます。

口腔衛生学，社会歯科学 など

臨床歯科医学領域

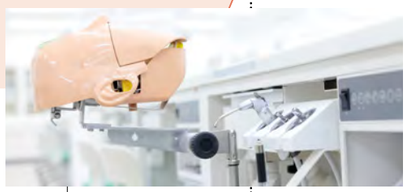
からだ全体についての医学的知識をもとに，歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めます。歯の硬組織や周辺組織に関する疾患や，その欠損と障害，口腔顎顔面領域の軟組織や硬組織に発生する疾患や障害，発育，成長過程に発生する疾患や障害，また高齢者に特有の疾患や障害とその治療法を学び，多様な歯科医療対応を修得します。

歯科矯正学，高齢者歯科学，放射線学 など

基礎歯科医学領域

歯科医師になるためには，人体の構造とその詳細，人体の各部分の機能を十分に理解する必要があります。さらに，病気の原因や治療に用いる薬の作用なども十分に理解しておく必要があります。このような医学にとって基本的な知識は基礎医学とよばれており，専門的には解剖学，組織・発生学，生理学，生化学，薬理学，微生物・免疫学，病理学などの分野に分かれています。また歯科医学においては生体との関わりの中で材料学が重要な役割を果たしています。そこでこれらの学科目を系統的に学修し，生体の構造や機能について幅広い医学知識や実際の歯科治療の知識・技術修得へ向けての基礎知識を身に付けます。

微生物・免疫学，病理学，歯科材料学 など



総合歯科医学領域

複数の異なる専門分野の教員が1つのテーマにアプローチする統合型講義を展開し，各学年で修得すべき知識・技術を確認しながら，全人的歯科医師を育成することを目的とします。

歯科医学総合講義1〜5

総合医学領域

臨床実習前に，内科学・外科学などを主体にした医学分野を横断的かつ複合的に学び，「オーラルサイエンス（口腔科学）」を実践するための知識・技術を統合的講義にて身に付けます。

総合医学

臨床実習領域

担当医の指導を受けながら，1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと接することで，技術だけにとどまらず，歯科医師としての態度，職業意識を身に付けます。

臨床実習

課題別
臨床実習

総合歯科医学領域

歯科医学総合講義6

幅広い教養の知識と基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ

学生インタビュー Student Interview

現在，松戸歯学部の3年次生として学んでいます。1年次では生物学，数学，物理学などの基礎科目や歯の解剖学を学修し，大学で専門的な学問を学ぶための切り替えの時期でした。 2年次に進級すると，履修科目が大きく変わり，薬理学，組織学，微生物学などの専門的な内容を学ぶようになりました。特に，解剖学では人体の構造かつ生命の尊さを学べる貴重な機会となりました。

2年次から，新しい校舎に移りました。学生たちが勉強し交流できるスペースのラーニング・コモンズがあり，最新の設備が整った環境で学修できることが，とても嬉しく思っています。

また，松戸歯学部における大学生活で，様々な学会や研究に参加する機会がたくさんありました。昨年4月から放課後の時間を活用し，自分が興味を持つ研究プログラムに参加し，8月に日本歯科医師会主催の歯学生の研究発表会であるSCRPで優勝しました。先生と先輩方のご支援のおかげで海外へ行く貴重な機会を得ました。これからも知識と技術を磨き，6年間の課程をストレートで卒業し，歯科医師として社会に貢献できるように努力していきます。

ジベク アイデンさん（3年次生）

学びの特色 Featured Learning

歯科矯正学

講義と実習を行いながら学修を進めます。講義では，歯科矯正学の歴史と定義，正常咬合，不正咬合の原因および予防などを学びます。実習では，不正咬合の治療がどのような装置によって行われるか，また，歯がどのように動くのかについて，実際の矯正器具を使いながら理解を深めます。

高齢者歯科学

現代の超高齢社会において，高齢者に関する歯科医学，歯科医療の知識は非常に重要なものとなっています。高齢者歯科学では，加齢による口腔内の変化をはじめ，高齢者をとりまく社会経済的環境，保健福祉制度をはじめとした，超高齢社会における歯科医師に必要な知識，技能を学修します。

4年次前学期の時間割（令和7年度 参考）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	障害者歯科学	高齢者歯科学	口腔顎顔面外科学	総合医学［有病者歯科検査医学］	小児歯科学
2	歯科矯正学	歯科保存学2		総合医学［内科系］	歯科補綴学2［クラウン・ブリッジ補綴学］
3	歯科矯正学（実習）	社会歯科学	歯科保存学2（実習）	歯科医学総合講義4	歯科補綴学2［クラウン・ブリッジ補綴学］（実習）
4		歯科補綴学2		医療行動科学4［歯科臨床判断学］	

教員からのメッセージ Message from the teacher

1年次では一般教養科目を中心に学びますが，歯科医療の基礎を築く「歯の解剖学」や，医療従事者としての倫理観を養う「医療行動科学」といった専門科目も含まれています。これらは，医療従事者としての視野を広げる重要な第一歩です。

2年次には「解剖学」，「生理学」，「組織・発生学」など，体の構造と機能を深く理解する基礎医学の学びが本格化します。また，「歯科材料学」や「生化学」，「薬理学」の基礎を学ぶことで，歯科診療の技術的な側面を支える土台を形成します。

3年次になると臨床系の講義や実習が始まり，診療に必要な技術を実践的に学びます。ここでは，患者対応や症例分析のスキルが求められるため，1・2年次に培った基礎力が試されることになります。

4年次では，総合的な歯科医学知識をもとに，国家試験対策を含むより高度な専門教育が行われます。また，OSCE（客観的臨床能力試験）やCBT（コンピュータを使用した試験）といった共用試験の準備を進め，臨床実習への橋渡しとなる包括的な学びが求められます。

1〜4年次生の学びは，歯科医療の専門家として患者の健康を守る使命を果たすための準備期間です。基礎から専門へと段階的に学びを積み重ねるプロセスは，必ず将来の大きな力となります。困難な局面もあるでしょうが，志を持ち，目標に向かって努力を続けてください。皆さんが立派な歯科医師として活躍する日を楽しみにしています。

伊東浩太郎 准教授

付属病院での臨床実習

全国トップクラスの来院患者数を誇る

学生インタビュー　Student Interview

松戸歯学部では，5年次から付属病院での臨床実習がスタートし，実際に患者さんと接することで歯科医師として必要な知識や臨床能力を深める機会がはじまります。

実習は各診療科で一定期間行われるため，専門的な知識を体系的に学ぶことが可能です。4年次までは座学中心で知識を蓄えることが主でしたが，臨床実習ではそれらを実践的に活用するため，歯科医師としてのスキルを磨くことができます。

また，実習中心の5年次では，空き時間を活用し，自習室等での自主学習や試験対策に取り組むことになります。

松戸歯学部の大きな特徴は，教員と学生の距離が近く，コミュニケーションが活発なところです。分からないことがあれば気軽に相談できるため，疑問から理解までの段階をスムーズに進めることができます。

こういった環境の中で，実習を通じて専門知識だけでなく，実践力や柔軟な対応力も身に付けることができ，歯科医師を目指す歯学生としての成長を強く実感しました。

梅村 匡さん（6年次生）

学びの特色　Featured Learning

診療参加型臨床実習（SD診療）

付属病院を受診する患者さんの診療に参加し，歯科医療の実践力を培います。指導医のもとで，初診時医療面接と応急処置，診査・検査・情報収集と分析，総合的治療計画の立案，患者さんへの説明まで学生が行います。さらに，指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し，患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。

課題別臨床実習

6年次に実施され，各診療科で参加型臨床実習を行いながら，新5年次生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し，より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。

歯科医学総合講義6

診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師を目指して講義を行い，歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

教員からのメッセージ　Message from the teacher

5年次では付属病院での臨床実習が始まります。ローテーションで各診療科に配属され診療に参加していきます。臨床の現場を見ることで，4年次までに学んできた内容について理解を深めることができます。見学や介補だけでなく，担当患者の診療では自ら治療計画を立て実際に治療を行います。知識や技能とともにコミュニケーション能力も求められ，臨床実習を通して医療人としての自覚が芽生えていきます。

6年次になると歯科医学総合講義6が始まります。松戸歯学部では歯科医師国家試験の傾向を分析し，国家試験対策となる講義を行っています。定期的に面談もあり，いつでも先生方に質問や相談をすることができます。また，放課後も使用できる学修スペースがあり，勉強に集中できる環境が整っています。

6年間という長い学生生活ですが，学生の皆さんには将来どんな歯科医師になりたいか思い描いて，夢を持って学んでいただけたらと思います。私たちはその夢を実現できるよう全力でサポートしていきます。

石井かおり 専任講師

究める，突き抜ける

廣田 誠さん
京都大学医学部口腔外科学分野 教授

1998 年に卒業してすぐに地元神奈川県に戻った私は，横浜市大の門を叩き，医学部口腔外科という環境で歯科医師としてのキャリアを積んでいきました。大学院に進学して学位を取得，口腔外科専門医も取得した時に海外留学の機会をもらい，ドイツに渡ってインプラント治療を学びました。インプラント治療を進める中，カリフォルニア大学ロサンゼルス校（ＵＣＬＡ）歯学部の研究室にも留学して改めて基礎からしっかりと研究する時間が得られた事も自分にとっては貴重な経験でした。これらは大学ならではの研鑽であり，歯科医師としての成長に繋がったと思っています。

2019 年に附属病院の診療科部長となり，自分が培ってきた経験を後輩たちに伝えていく事を意識するようになりました。歯学部卒業生が臨床研修医として入ってくるので，まずは健全な歯科医師としての成長をサポートします。口腔外科専門医取得のためには実地試験を受けますが，手術の指導はもちろん，論文の作成なども指導してきた先生が専門医試験に合格する事は自分にとっても非常に大きなイベントです。

2024 年，ご縁があり京都大学にて新たな先生たちの指導をすることになりましたが，改めて多くの口腔外科専門医の育成に注力できることが非常に楽しみです。近年は大学を志望する歯科医師は減少していますが，大学病院ならではの学びがあります。歯科医療に限らず医療の世界は大きな転換期を迎えており，地域全体で医療を提供していく環境において活躍する人材が今後求められます。私は大学病院という少々特異な環境で育ってきましたが，どのような環境に身を置いたとして，必要とされる人材に共通することは何かを究めている事かと思います。これから歯科医師を目指そうとする皆様には，専門性の高い突き抜けた知識や技術を身につける一途さを持って，貴重な学生生活，様々な事に取り組んで欲しいです。

歯科医師人生におけるスタートライン

磯貝 奈々さん
nana矯正歯科clinic 院長

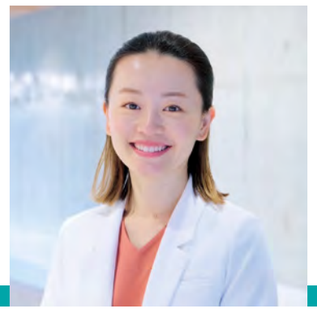
2023 年3月，浅草に矯正専門のクリニックを開業しました。私は将来設計をすることが不得意だったこともあり，先のことはあまり考えずに生きてきた人生でした。

そんな私の大学時代は，高校生より始めた硬式テニスを続け，大学時代を振りかえると，テニスをしていた記憶しかありません。国家試験を無事に合格し，研修医を終えるころ，初めて将来どうしようか?と考えました。計画性のある同級生たちは，学生のころからこの分野に進みたいという志を持っている人たちも多くいましたが，研修中の経験や将来的に女医としての働きやすさを考えた末，選んだ道は矯正科でした。矯正科に 5 年間在籍し，認定医の資格を無事取得することができましたが，今思うとそこが第一のスタートラインだったようにも思えます。

矯正フリーランスドクターとして様々なクリニックに勤務し，多くの学びを得ました。一つは，矯正専門のクリニックで勤務した際に，矯正のスキルはもちろんのこと，歯科医師としての強い信念を持ち患者様に真摯に向き合う大切さを学べたことです。二つ目は，たくさんのクリニックのスタッフさんと出会えたことで，色々な考え方を知れたことです。もし将来自分が院長になったら，スタッフの気持ちに寄り添える院長でありたいという思いが芽生えました。三つ目は，たくさんの患者様の治療を行う中で，様々な苦難に遭遇し，打ちのめされた経験です。そして四つ目は，そんな悩みがあったときにすぐ相談に乗り，助けてくれ，そして自信をくれた同期や先輩・後輩がいたことです。

このような経験をしていく中でこの先の歯科医師人生どうしようか?と考えたときに，すべての経験を活かしていくには自分のクリニックを持つことだと考えがまとまっていき，紆余曲折ありましたが，無事に 40 歳目前に開業することができました。

ここまでの道のりを振り返り，周りの環境やここまで自由に生きさせてもらい協力してくれた家族のおかげで第二のスタートラインに立てたことに心から感謝しています。



夢なき者に成功なし
～いつまでも高みを目指すマインドを～

古賀 陽子（旧姓：河瀬）さん
東京女子医科大学医学部 歯科口腔外科学講座
口腔顎顔面外科学分野 教授・基幹分野長

1999年３月に松戸歯学部を卒業してから，早くも25年が経ちました。学生時代の臨床実習を通じて「顎切りができる口腔外科医になりたい！」という強い思いを抱き，卒業後は東京大学口腔外科で研修医として２年間勤務しました。その後，東京大学大学院に進学し，研究に没頭する日々を送りました。

大学院時代には国立国際医療研究センター研究所の再生医療研究室に国内留学し，博士号取得後，自力でコーネル大学医学部発生生物学のDr.Sunラボのポスドクのポジションを獲得。2005年に渡米し，中枢神経系の幹細胞の研究に従事しました。３年半のポスドク生活は非常に厳しいもので，常に結果を求められるプレッシャーにさらされましたが，この経験が私の成長を大きく促してくれたと思います。

2009年４月に東京大学に戻り，臨床経験を積むための日々が始まりました。口腔外科医として独り立ちする夢を追いながら，基礎研究と臨床の両立に努めました。2014年には東京医科大学に異動し，准教授を経て2020年に現職に就きました。専門である顎変形症手術を計画し執刀できるまでには卒後15年の月日を要しました。

教授職に就いた時には45歳。周囲からの様々な声が聞こえてきましたが，いかなる時も前を向き，高みを目指していくことを教えてくださったのは松戸歯学部だったと思います。松戸歯学部の同期生は，分野は異なれど互いを応援し合う存在であり，彼ら彼女らと出会えたことは私の人生の宝です。同期生が高みを目指し続ける姿に刺激を受け，私も精進しなければと自分自身を鼓舞しています。

教授職に就いて５年が経ちますが，まだまだ未熟です。さらなる成長・進化を求め，2023年に一橋大学大学院経営管理研究科（MBA）に入学し，夜間のビジネススクールで経営学を学びました。2025年３月に経営修士号を取得します。松戸歯学部での学びが，私に挑戦し続ける姿勢を育んでくれました。これからも進化を続け，自分自身のオリジナリティとアイデンティティを築き上げていきたいと思います。皆さんも，夢を抱き，松戸歯学部で自分らしい道を切り拓いてください。

大学院 松戸歯学研究科

最先端の機器が充実した環境で 追究したい専門領域を深く掘り下げる

＊詳細はこちらをご覧ください。

日本大学大学院松戸歯学研究科は昭和52年に設置されました。現在，発育発達全身疾患学系，口腔病態制御学系，組織細胞再生学系，先端材料修復学系，口腔顎脳再建学系，病態診断検査学系の6つの学系のもとに23の専攻学科目があります。大学院には科学する能力をもった臨床医を育てることと，未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を育てる目的があり，様々な最先端の機器が充実した研究に最適な環境で，追究したい専門領域を深く掘り下げ，さらに専門性を高めることができます。

海外留学制度

ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ（サマースクール）

日本大学は英国ケンブリッジ大学で長期にわたり，3週間のサマースクールを実施しています。研修期間中は，日本大学と共同出資で建設した学寮に滞在しながら，カレッジ生活を体験します。

日本大学大学院海外派遣奨学生

大学院学生を海外に派遣することにより，研究者の育成及び国際交流の進展を図り，本学の発展に資することを目的としています。

エリザベスタウン・カレッジ

英語運用能力のレベルアップを目的としたプログラムで，エリザベスタウン・カレッジ内の寮に滞在し学びます。米国の生活・文化を体験するため，ニューヨーク，ワシントンD.C.といった都市へのフィールドトリップも企画される予定です。

松戸歯学部の学生生活

Culture

広大なキャンパスでの
活発なクラブ活動

学生自ら企画し，
実施する学校行事

新校舎（５０周年記念棟）
竣工による
充実した学修環境

Campus Calendar 年間行事

本学部の学事日程には学修の場としての様々な行事に加え，
学部祭（松戸祭）や全日本歯科学生総合体育大会への参加など，
学生生活をより充実させるイベントも行われています。
ともに学ぶ仲間とふれあい，先輩や先生方など多くの人との関わりを持つことで，
「コミュニケーション力」，「リーダーシップ・協働力」を備えた歯科医師の養成を目指しています。

春

- 日本大学入学式／学部開講式
- 登院式・戴衣式（5年次）
- ガイダンス
- 新入生オリエンテーション
- 定期健康診断
- 後援会総会
- 松戸歯学部創設記念日（5/20）
- 消防・防災訓練
- リーダースキャンプ
- オープンキャンパス
- 大学院開講式
- 実験動物慰霊祭
- 学外研修（5年次）

夏

- 特待生・各種奨学生　証書等授与式
- オープンキャンパス
- 夏季休業
- 全日本歯科学生総合体育大会（歯学体：夏期部門）

秋

- 日本大学口腔科学会学術大会・総会
- 後学期授業開始
- 日本大学創立記念日（10/4）
- 学部祭（松戸祭）
- 市民大学講座
- オープンキャンパス
- 解剖体追悼法要
- 消防・防災訓練

冬

- 全日本歯科学生総合体育大会（歯学体：冬期部門）
- 冬季休業
- 歯科医師国家試験
- 共用試験CBT，OSCE（4年次）
- 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（5年次）
- 日本大学卒業式／学位記伝達式
- 歯科医師国家試験合格発表

※各種行事は，変更・中止となる場合があります。

授業だけでは得られない知識や思考を持てるのは学生会ならでは

学生会執行委員会 委員長（学生会長）
加藤 里奈さん（5年次生）

高校には生徒会があると思いますが，私たち松戸歯学部には「学生会」という名前の組織があります。学生会の主な活動は毎年10月頃に開催される「松戸祭」の運営です。企画やスケジュール管理など，すべて自分たちで考え，運営しています。その他にも他大学・他学部との交流や全学FD活動（大学教育の内容や方法の改善を図るための、教員の組織的な取り組み）へ学生スタッフとして参加する等，学部の枠を越えた規模の活動まで行っています。

私は1年次から学生会に所属し，4年間学生会メンバーとして様々な活動に携わってきました。1年次はひたすら自分が任された仕事をこなす毎日で，自分が学生会長になるなど想像もしてませんでした。

学年が上がるにつれて先輩として後輩を指導する事が増え，責任感も大きくなっていき前学生会長からの任命をきっかけに学生会長を務める決意をしました。

学生会長としての活動は決して簡単なものではありませんでした。同期や後輩の意見をまとめながら，どのように松戸祭を成功させるのか日々悩む事も多かったです。しかし仲間と作りあげる松戸祭は達成感という言葉では表せないほどの感動と刺激を感じる事が出来ました。この4年間をとおして私は「仲間」の存在がどれほど自分の大学生活において，かけがないものかを実感しました。大変なことも多かったですが，多くの仲間に支えられ，最後までやり遂げることができたと思います。

授業だけでは得られない知識や思考を持てるのは学生会ならではの魅力だと思っています。何かに挑戦したい方は，ぜひ一度学生会を覗いてみてください。

Clubs クラブ活動

本学部のモットーは文武両道。国家試験合格を目指すかたわら，
多くの学生が同じ趣味や目的を持つ仲間と，クラブ活動にも精力的に汗を流しています。
本学部には夜間照明付きグラウンド，体育館，テニスコート等が完備されており，
サポート体制は万全です。このクラブ活動で得た学年を超えた「仲間」との絆は，
在学中はもちろんのこと，卒業してからも生涯の友として貴重な財産となります。

「今日中にここまで勉強してしまおう」という切り替えができるようになった

ラグビーフットボール部　豊田 隆一郎さん（5年次生）

2024年度私たちラグビー部は公式戦無敗でシーズンを終えることができました。

私は元々未経験でありましたがラグビーという競技に興味を持っており，先輩方の勧誘により入部を決意しました。

正直な話，勉強に影響が出てしまうのではないか，自由な時間が減ってしまうのではないかなど活動前はあまり好意的なイメージは持っておりませんでした。ただ，活動が始まってみると明日は部活だから今日中にここまで勉強をしてしまおうという切り替えができるようになったり，わからないことを先輩方に聞くと十分すぎるくらいの解説をしてくださったり，試験を乗り切るコツや実習などの取り組み方を教えていただいたり勉強面においてもたくさんのメリットを感じました。

また，ラグビー部は縦の繋がりもとても強く1年から6年までマネージャーも含め全員で遊んだり旅行に行ったりもします。日々の部活後にもご飯に行ったりとても仲が良いクラブであると感じます。

未経験での入部でも周囲のサポートでたくさんの試合経験を積ませてもらい本年度のオールデンタルでは全試合に出場し，優勝を経験することができました。その時の感動は部活動に入っていなければ味わうことのできないかけがえのないものであったと今でも感じています。

もし未経験で入部を迷う方がいたら，私が他の誰よりもサポートできると思うので是非，興味を持っていただけたらと思います。実際に部員の半数以上はこの松戸歯学部でラグビーを始めた人たちです。

最後になりますが，松戸歯学部での部活動に参加することはとても有意義な時間や人脈，思い出を作れるので迷わずおすすめします！

【 ラグビーフットボール部 2024年度実績 】
関東医歯薬リーグ3部 全勝優勝，2部昇格
第57回全日本歯科学生体育大会ラグビー部門 全勝優勝

大学の枠を超えて 歯科に関する視野を広げ 将来に繋がる活動に取り組みたかった

国際保健部 主将　高森 麗加さん（4年次生）

国際保健部は学会での発表，APDSA（アジア太平洋歯科学生会議）というアジア各地の歯学部生が年に1度集まる大会への参加，海外ボランティア活動など人との交流が中心の部活動です。

私が国際保健部に入部した理由は，学生のうちから大学の枠を超えて歯科に関する視野を広げ，将来に繋がる活動に取り組みたかったからです。そして，その道を一人で歩むのではなく，同じ志を持つ仲間と共に成長したいと思ったからです。

コロナ禍で活動が一時停止していたものの，2024年度から再スタートし，様々な活動をしています。その過程で，どのような活動を何のためにしたいかを部員同士で話し合い，コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力，問題解決能力，多面的な視点，考える力が養われました。

一見堅苦しい部活に見えますが，全くそんなことはありません。活動は不定期で参加は自由です。私自身，大学の勉強はもちろん，運動系の部活と2つのバイトを掛け持ちしています。ですので無理なく，しかし有意義に活動するというのが当部活のコンセプトです。受動的ではなく，学生のうちから自ら取り組んで視野が広がるこの活動は，確実に自信に繋がります。

体育クラブ

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式野球部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サーフィン部
- サッカー部
- 山岳部
- 少林寺拳法部
- 準硬式野球部
- 柔道部
- スキー部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 日本拳法部
- バドミントン部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- フットサル部
- ボクシング部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビーフットボール部
- 陸上競技部

文化クラブ

- 国際保健部
- 軽音楽部
- 写真部
- ユースホステルクラブ
- アナログレコード研究部
- ダンス部
- モーターサイクル部
- 天文部

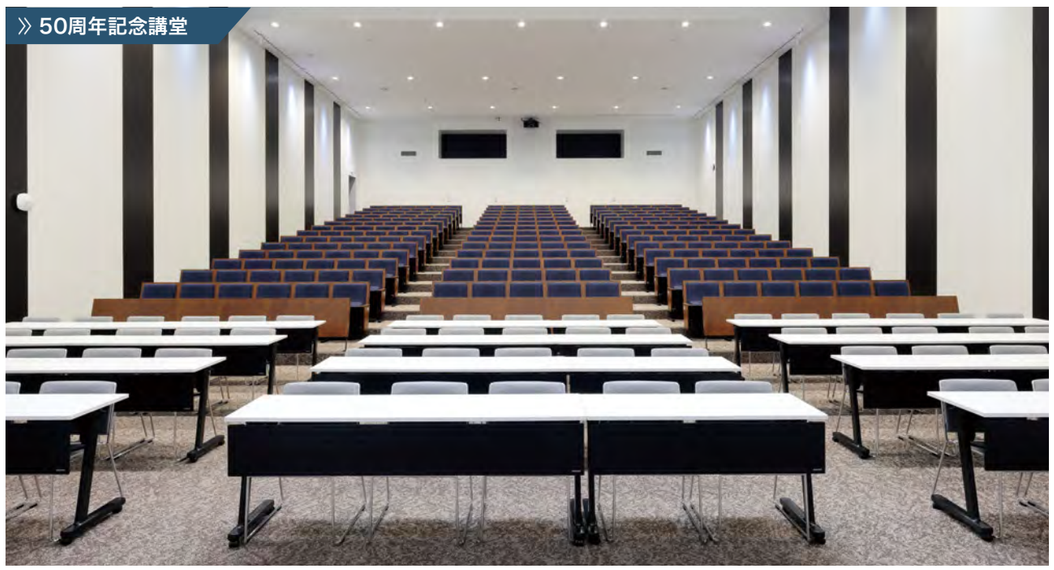
同好会

- MDEC同好会
- 社会交流同好会
- 釣り同好会
- 戦史研究会
- 卓球同好会
- ダーツ同好会

Campus 施設・設備

2024年4月，新校舎「50周年記念棟」の運用を開始し，教育・研究・管理の場としての中核を担う機能を集約しました。
キャンパス中央に配置された新校舎には50周年記念講堂をはじめ，実習室，大教室など，主要な施設が機能的に配置されています。中でもラーニング・コモンズは，図書館機能を含む学修環境の中心としての利用が期待されています。また，学生食堂や体育館，グラウンドなども備え，のびのびと学修に打ち込める環境が整っています。

50周年記念講堂



合計300名が収容できる大講堂です。開講式などの式典のほか，学会の開催等を想定し多目的に使用できます。

第1～4実習室

教養・基礎歯科医学・専門歯科医学分野の授業を幅広く安全に学べるよう，それぞれの実習室に特化したさまざまな設備を完備。例えば，タブレット端末などの情報機器を活用した授業にも対応しています。

臨床実習室

計18台の歯科ユニットが設置され，臨床を想定した実習ができる教室となっています。なるべく歯科医療の現場に近い環境を学生に提供することで，即戦力となる歯科医師を養成します。

大教室

各学年ごとに専用の教室が整備されており，学年全員で受講する必修授業はこれらの教室を使用しています。

ラーニング・コモンズ

図書館に隣接する自習スペースであり，個人の自習に使用することはもちろん，グループでの学修をすることも可能です。仲間同士で知識を共有するような，相互に学び合う環境を提供しています。

図書館

所蔵資料は，歯学関係書籍を中心に約3万5千冊で，医学・薬学を含む隣接領域の専門書も幅広くカバーしています。開館時間は，9:00～21:00(平日)で，利用者が資料を直接手に取れる開架システムを採用しています。

学生自習室

タブレット端末などの情報機器を使用する学修に対応したコンセント付きの机を151台設置した自習スペースです。利用可能時間は9:00～21:00で，毎日，多くの学生が利用しています。

学生食堂

学生や教職員，研修医など学内関係者が自由に利用でき，クラブのミーティングや学修する場としても利用されています。

体育館

バスケットボールコート2面を確保でき，冷暖房設備があります。その他に各種道場，トレーニングルーム及びシャワー室を備えています。

松戸歯学部の入試について

Information

学生インタビュー　Student Interview

看護師から歯科医師を目指す。

私は編入学試験（第2期）を受験し，入学しました。

私は看護師免許取得後，5年間医療現場に携わっておりました。その中で，口腔ケアの重要性を実感する機会が多々ありました。特に高齢者や全身疾患を抱える患者さんの健康管理において，口腔内の状態が全身の健康に大きな影響を及ぼすことを目の当たりにし，歯科医療の役割に深い関心を抱くようになりました。これが入学を志望した理由です。

また，看護師として日々患者さんと接する中で正しい知識がないままに口腔ケアを行う看護師や介護士がほとんどでした。これを受けて，看護師としての知識や経験を基盤に歯科医療の専門的な知識と技術を身につけることで，より包括的な医療を提供できるのではないかと思いました。

2年次へ編入できたことにより，すでに専門的な授業が始まっており歯科医療の基礎となる知識を学んでいます。将来的には歯科治療の技術はもちろん，看護と歯科医療の両面から患者さんを支える医療従事者として，多職種連携の現場で貢献し，患者さんに寄り添ったケアを提供できる歯科医師を目指しています。

白瀬 芙実さん（3年次生）

令和8年度入学者選抜の主な変更点

1. **従来の「基礎学力検査」を「理解力の確認」に変更します。**
   【該当の入学者選抜】総合型選抜，学校推薦型選抜（付属特別選抜），校友枠選抜，外国人留学生選抜，編入学試験（2年次・3年次）

   「理解力の確認」とは？　基本的な歯科医学に関する約30分の模擬授業（動画）を受講後，授業内容に関する設問に解答していただきます。解答は全問マークシート方式です。

2. **一般選抜A個別方式（第1期・第2期）の選考方法で小論文を廃止します。** 詳しくはP.27

3. **外部の英語資格・検定試験のスコアを英語の得点として利用可能とします。**
   【該当の入学者選抜】一般選抜A個別方式（第1期・第2期） 詳しくはP.27

4. **一般選抜N全学統一方式（第2期）の選択科目に国語を追加します。** 詳しくはP.27

5. **外国人留学生選抜を新規導入します。** 詳しくはP.30

6. **編入学試験（3年次）を新規導入します。** 詳しくはP.31

令和８年度入学者選抜入試情報

◆本誌に掲載されている内容は予定であり，変更になる可能性があります。必ず募集要項でご確認ください。

＊詳細はこちらをご覧ください。

一般選抜　N全学統一方式【併願】(日本大学全体で実施する一般選抜)

	【第1期】	【第2期】
募集人員	10名(【第1期】【第2期】合計)	
受験会場	全国19会場	全国4会場
出願期間	令和8年1月5日(月)～1月22日(木)	令和8年1月5日(月)～2月25日(水)
出願方法	インターネット出願，郵送	
試験日	**令和8年2月1日(日)**	**令和8年3月4日(水)**
合格発表日 ＊1	令和8年2月9日(月)	令和8年3月12日(木)
入学手続締切日	令和8年2月16日(月)	令和8年3月18日(水)
二段階最終入学手続締切日	令和8年3月11日(水)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり	
入学検定料	18,000円(割引制度あり・詳細は「一般選抜募集要項」参照)	
選考方法	●**学力検査**(2教科2科目)：マークシート方式	

教科	【第1期】	【第2期】
外国語	必須(60分/100点満点)	
数学①	2教科4科目から1科目選択(60分/100点満点)	3教科5科目から1科目選択(60分/100点満点)
理　科		
国　語	—	

〈外国語〉「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」
〈数学①〉「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A(図形の性質，場合の数と確率)，数学B(数列)，数学C(ベクトル)」
〈理　科〉「物理基礎，物理」，「化学基礎，化学」，「生物基礎，生物」
〈国　語〉「現代の国語，言語文化(漢文を除く)」

●**書類審査**：出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」「出席状況」
〈調査書を提出できない受験生[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者等]の評価については，出席状況を含めて調査書の全体の学習成績の状況C段階と同評価とします。〉

※選択科目を指定科目数以上受験した場合は，高得点の科目を合否判定に使用します。ただし，医学部を併願していて，「理科」を合否判定に使用する場合は，第１解答科目のみを合否判定に使用します。
※上記の結果を基に総合的に選考します。

＊1.午後１時にインターネットによる合否案内。

一般選抜　A個別方式【併願】(松戸歯学部が個別で実施する一般選抜)

	【第１期】	【第2期】
募集人員	52名(【第１期】【第2期】合計)	
受験会場	松戸歯学部	
出願期間	令和8年1月5日(月)～1月26日(月)	令和8年1月5日(月)～2月20日(金)
出願方法	インターネット出願，郵送	
試験日	**令和8年2月4日(水)**	**令和8年2月28日(土)**
合格発表日 ＊1	令和8年2月9日(月)	令和8年3月6日(金)
入学手続締切日	令和8年2月16日(月)	令和8年3月18日(水)
二段階最終入学手続締切日	令和8年3月11日(水)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり	
入学検定料	40,000円(割引制度あり・詳細は「一般選抜募集要項」参照)	
選考方法	●**学力検査**(2教科2科目)：選択式・記述式	

教科	【第1期】【第2期】
外国語	必須(60分/100点満点)
数　学	2教科4科目から1科目選択(60分/100点満点)
理　科	

〈外国語〉「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ」
◆外国語は，外部の英語資格・検定試験のスコアの利用可(詳細はP.28)
〈数　学〉「数学Ⅰ，数学Ⅱ」
〈理　科〉「物理基礎，物理」，「化学基礎，化学」，「生物基礎，生物」

●**書類審査**：出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」「出席状況」
〈調査書を提出できない受験生[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者等]の評価については，出席状況を含めて調査書の全体の学習成績の状況C段階と同評価とします。〉
●**面接【個人面接】**(10分程度/50点満点)　◆「小論文」は廃止
※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。

＊1.午後１時にインターネットによる合否案内。

一般選抜　C共通テスト利用方式【併願】(大学入学共通テストを利用した一般選抜)

	【第１期】	【第2期】
募集人員	5名(【第１期】【第2期】合計)	
出願期間	令和8年1月5日(月)～1月26日(月)	令和8年1月5日(月)～3月6日(金)
出願方法	インターネット出願，郵送	
試験日	**大学入学共通テスト　令和8年1月17日(土)・18日(日)**	
合格発表日 ＊1	令和8年2月13日(金)	令和8年3月19日(木)
入学手続締切日	令和8年2月20日(金)	令和8年3月25日(水)
二段階最終入学手続締切日	令和8年3月11日(水)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり	
入学検定料	18,000円	
選考方法	●**大学共通テストの試験科目**	

教科	【第1期】(3教科3科目)	【第2期】(2教科2科目)
外国語	必須(100点満点)	
数　学	3科目から1科目選択(100点満点)	3教科8科目から1科目選択(100点満点)
理　科	3科目から1科目選択(100点満点)	
国　語	—	

〈外国語〉「英語」(リスニングの成績は利用しません。)
〈数　学〉「数学Ⅰ，数学A」，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ，数学B，数学C」
〈理　科〉
【第１期】「物理」，「化学」，「生物」
【第２期】「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(地学基礎を除く3科目のうちからいずれか2科目を選択)」，「物理」，「化学」，「生物」
〈国　語〉「国語(近代以降の文章)」

●**書類審査**：出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」「出席状況」
〈調査書を提出できない受験生[高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者等]の評価については，出席状況を含めて調査書の全体の学習成績の状況C段階と同評価とします。〉

※個別の学力試験等は実施しません。※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し総合的に選考します。
※選択科目を指定科目数以上受験した場合は，高得点の科目を合否判定に使用します。ただし，「理科(基礎を付していない科目)」を２科目以上受験した場合は，第１解答科目のみを合否判定に使用します。

＊1.午後１時にインターネットによる合否案内。

外部の英語資格・検定試験のスコアの利用について

外部の英語資格・検定試験のスコアを下記の換算基準により外国語の得点として利用することができます。

利用可能な入学者選抜　一般選抜A個別方式(第１期・第2期)

英語資格・検定試験	得点換算		
	100点	90点	80点
実用英語技能検定 CSEスコア (CSE 2.0)	2,304 以上	2,142 以上	1,980 以上
TEAP (R/L + W/S)	309 以上	267 以上	225 以上
GTEC	1,180 以上	1,055 以上	930 以上
IELTS™	5.5 以上	5.0 以上	4.5 以上
TOEFL iBT®	72 以上	57 以上	42 以上

①スコアを提出した場合，本学の外国語の試験の受験は任意とします。
②本学部の外国語の試験を受験した場合は，高得点の方を合否判定に使用します。
③いずれも４技能合計のスコアとします。
④異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。
　複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。

令和８年度入学者選抜入試情報

◆本誌に掲載されている内容は予定であり，変更になる可能性があります。必ず募集要項でご確認ください。

＊詳細はこちらをご覧ください。

総合型選抜　総合型選抜【専願】

	【第1期】	【第2期】	【第3期】
募集人員	16名（【第1期】【第2期】【第3期】合計）		
受験会場	松戸歯学部		
出願期間	令和7年9月1日（月）～10月10日（金）	令和7年11月14日（金）～12月5日（金）	令和8年2月20日（金）～3月13日（金）
出願方法	インターネット出願，郵送，窓口		
選考日	**令和7年10月18日（土）**	**令和7年12月13日（土）**	**令和8年3月18日（水）**
合格発表日 ＊1	令和7年11月4日（火）	令和7年12月19日（金）	令和8年3月23日（月）
入学手続締切日	令和7年11月14日（金）	令和8年1月16日（金）	令和8年3月27日（金）
出願資格	次の①から③のいずれかに該当する者。 ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者。 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者（高等専門学校第３年次修了者等）及び令和8年3月修了見込みの者。 ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者。		
出願要件	本学部を第一志望とし，合格した場合は本学部に入学することを確約できる者。		
出願書類	●出願確認票（インターネット出願サイトの「日本大学マイページ」から本学部所定用紙を出力） ●出願理由書・経歴書（松戸歯学部HPの「総合型選抜（第１期・第２期・第３期）募集要項」から本学部所定用紙を出力） ●出願資格を証明する書類（出身学校調査書等）		
入学検定料	40,000円		
選考方法	●理解力の確認（マークシート方式） 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬授業（動画）を受講後，授業内容に関する設問に解答。（20分程度/100点満点） ●小論文［500字～600字］（60分/50点満点） ●面接［個人面接］（10分程度/50点満点） ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，小論文及び面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。		

＊1.午後１時にインターネットによる合否案内。

学校推薦型選抜　指定校制・公募制【専願】

	指定校制	公募制
募集人員	12名（（指定校制）（公募制）合計）	
受験会場	松戸歯学部	
出願期間	令和7年11月1日（土）～11月7日（金）	
出願方法	インターネット出願，郵送，窓口	
選考日	**令和7年11月15日（土）**	
合格発表日 ＊1	令和7年12月1日（月）	
入学手続締切日	令和7年12月11日（木）	
出願資格	次の事項を全て満たす者。 ●本学部指定の高等学校又は中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者。 ●調査書の「全体の学習成績の状況」が指定校別に定めた値以上の者。 ●学校長が責任をもって推薦する者。	次の事項を全て満たす者。 ●全日制高等学校又は中等教育学校（共に普通科・理数科，又は本学部がこれに準ずると認めた学科）を令和7年3月から令和8年3月までに卒業または卒業見込みの者。 ●調査書の「全体の学習成績の状況」が3.3以上の者。 ●学校長が責任をもって推薦する者。
出願要件	本学部を第一志望とし，合格した場合は本学部に入学することを確約できる者。	
出願書類	●出願確認票（インターネット出願サイトの「日本大学マイページ」から本学所定用紙を出力） ●出身学校の調査書 ●出身学校長の推薦書（松戸歯学部HPの「学校推薦型選抜（指定校制）（公募制）募集要項」から本学部所定用紙を出力）	
入学検定料	40,000円	
選考方法	●書類審査：出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」「出席状況」 ●小論文［500字～600字］（60分/50点満点） ●面接［個人面接］（10分程度/50点満点） ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，小論文及び面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。	

＊1.午後１時にインターネットによる合否案内。

その他の選抜　校友枠選抜【専願】

	【第1期】	【第2期】
募集人員	10名（【第1期】【第2期】合計）	
受験会場	松戸歯学部	
出願期間	令和7年9月1日（月）～10月10日（金）	令和7年11月14日（金）～12月5日（金）
出願資格確認書 申請期限 ＊1	令和7年9月26日（金）	令和7年11月21日（金）
出願方法	インターネット出願，郵送，窓口	
選考日	**令和7年10月18日（土）**	**令和7年12月13日（土）**
合格発表日 ＊2	令和7年11月4日（火）	令和7年12月19日（金）
入学手続締切日	令和7年11月14日（金）	令和8年1月16日（金）
出願資格	日本大学校友会が発行した「出願資格確認書」を有し，次の①から③のいずれかに該当する者。 ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者。 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者（高等専門学校第３年次修了者等）及び令和8年3月修了見込みの者。 ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者。	
出願要件	本学部を第一志望とし，合格した場合は本学部に入学することを確約できる者。	
出願書類	●日本大学校友会発行の「出願資格確認書」 ●出願確認票（インターネット出願サイトの「日本大学マイページ」から本学所定用紙を出力） ●出願理由書・経歴書（松戸歯学部HPの「校友枠選抜募集要項（第１期・第２期）」から本学部所定用紙を出力） ●出願資格を証明する書類（出身学校調査書等）	
入学検定料	40,000円	
選考方法	●書類審査：出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」「出席状況」 ●理解力の確認（マークシート方式） 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬授業（動画）を受講後，授業内容に関する設問に解答。（20分程度/100点満点） ●小論文［500字～600字］（60分/50点満点） ●面接［個人面接］（10分程度/50点満点） ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，小論文及び面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。	

＊1.「出願資格確認書」を日本大学校友会事務局へ提出し，申請をしていただきます。　＊2.午後１時にインターネットによる合否案内。

その他の選抜　外国人留学生選抜【併願】新設

	【第1期】	【第2期】
募集人員	4名（【第1期】【第2期】合計）	
受験会場	松戸歯学部	
出願期間	令和7年9月1日（月）～9月26日（金）	令和7年11月14日（金）～11月21日（金）
出願方法	インターネット出願，郵送，窓口	
選考日	**令和7年10月18日（土）**	**令和7年12月13日（土）**
合格発表日 ＊1	令和7年10月24日（金）	令和7年12月19日（金）
入学手続締切日	令和7年11月7日（金）	令和8年1月16日（金）
二段階最終入学手続締切日	令和8年3月11日（水）	
出願資格・出願書類	日本大学HP入試ガイドに記載のとおり （日本語能力試験（JLPT）N2 レベル以上取得が望ましい）	
入学検定料	40,000円	
選考方法	●書類審査 ●理解力の確認（マークシート方式） 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬授業（動画）を受講後，授業内容に関する設問に解答。（20分程度/100点満点） ●小論文［500字～600字］（60分/50点満点） ●面接［個人面接］（10分程度/50点満点） ◆全て日本語で実施する。 ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，小論文及び面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。	

＊1.午後１時にインターネットによる合否案内。

令和８年度入学者選抜入試情報

◆本誌に掲載されている内容は予定であり，変更になる可能性があります。必ず募集要項でご確認ください。

＊詳細はこちらをご覧ください。

その他の選抜　編入学試験（２年次）【併願】

	2年次【第1期】	2年次【第2期】
募集人員	若干名	
受験会場	松戸歯学部	
出願期間	令和7年11月1日(土)～11月7日(金)	令和8年2月20日(金)～3月13日(金)
出願方法	郵送，窓口	
選考日	**令和7年11月15日(土)**	**令和8年3月18日(水)**
合格発表日 ＊1	令和7年12月1日(月)	令和8年3月23日(月)
入学手続締切日	令和7年12月11日(木)	令和8年3月27日(金)
出願資格	次の①から④のいずれかの要件を満たす者。 ①出願時において同一の大学に1年以上在学し，35単位以上を修得した者。ただし，単位修得見込みの者を除く。 ②大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者。 ③短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者。 ④高等専門学校（学校教育法第115条）を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者。	
出願書類	●入学志願票 ●出願理由書・経歴書（松戸歯学部HPの「編入学試験（2年次）（3年次）募集要項」から本学部所定用紙を出力） ●最終出身学校の成績証明書（単位数記載のもの） ●最終出身学校の在学期間を証明する書類（在学証明書・卒業証明書・退学証明書等）	
入学検定料	40,000円	
選考方法	●理解力の確認（マークシート方式） 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬授業（動画）を受講後，授業内容に関する設問に解答。（20分程度/100点満点） ●小論文［500字～600字］（60分/50点満点） ●面接［個人面接］（10分程度/50点満点） ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，小論文及び面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。	

＊1.合否を問わず，本人に通知します。

その他の選抜　編入学試験（３年次）【併願】新設

	3年次【第1期】	3年次【第2期】
募集人員	若干名	
受験会場	松戸歯学部	
出願期間	令和7年11月1日(土)～11月7日(金)	令和8年2月20日(金)～3月13日(金)
出願方法	郵送，窓口	
選考日	**令和7年11月15日(土)**	**令和8年3月18日(水)**
合格発表日 ＊1	令和7年12月1日(月)	令和8年3月23日(月)
入学手続締切日	令和7年12月11日(木)	令和8年3月27日(金)
出願資格	次の①～③のいずれかの要件を満たす者。 ①出願時において，以下に挙げる分野の大学に2年以上在学し，７３単位以上修得した者。ただし，単位修得見込みの者を除く。 ②以下に挙げる分野の大学を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者。 ③以下に挙げる分野の短期大学を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者。 【該当分野】歯・医・薬分野，看護・保健・衛生分野，健康科学分野 ◆上記①～③のいずれの場合も，出願前に前学校での既修得科目・単位により，出願資格の有無を確認するので，必ず教務課（入試係）にお問い合わせください。 ◇入試に関するお問合せ先　教務課（入試係）TEL：047-360-9339	
出願書類	●入学志願票 ●出願理由書・経歴書（松戸歯学部HPの「編入学試験（2年次）（3年次）募集要項」から本学部所定用紙を出力） ●最終出身学校の成績証明書（単位数記載のもの） ●最終出身学校の在学期間を証明する書類（在学証明書・卒業証明書・退学証明書等）	
入学検定料	40,000円	
選考方法	●理解力の確認（マークシート方式） 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬授業（動画）を受講後，授業内容に関する設問に解答。（20分程度/100点満点） ●小論文［500字～600字］（60分/50点満点） ●面接［個人面接］（10分程度/50点満点） ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，小論文及び面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。	

＊1.合否を問わず，本人に通知します。

学校推薦型選抜　日本大学付属高等学校等【専願・併願】

	基礎学力選抜【専願】	付属特別選抜【専願】	国公立併願方式【併願】	追加募集【専願】
募集人員	16名	2名	1名	ー
受験会場	松戸歯学部			
出願期間	令和7年11月1日(土)			令和7年12月9日(火)
出願方法	付属校から大学本部へ			
選考日	**令和7年11月15日(土)**			**令和7年12月13日(土)**
合格発表日 ＊1	令和7年12月1日(月)			令和7年12月19日(金)
入学手続締切日	令和7年12月11日(木)		令和8年3月25日(水)	令和8年1月16日(金)
出願要件	次の①～③の全ての要件を満たし，学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等を令和8年3月卒業見込みの者。 ②本学部で歯学の専攻を強く希望し，合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。 ③日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト（理系）の標準化点の順位が全体の上位8割以内である者。	次の①～②の全ての要件を満たし，学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等（文系・理系）を令和8年3月卒業見込みの者。 ②本学部で歯学の専攻を強く希望し，合格した場合，本学部に入学することを確約できる者。	次の①～②の全ての要件を満たし，学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等を令和8年3月卒業見込みの者。 ②日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト（理系）の標準化点の順位が全体の上位６割以内である者。	次の①～②の全ての要件を満たし，学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等を令和8年3月卒業見込みの者。 ②日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト（理系）の標準化点の順位が全体の上位８割以内である者。
選考方法	●面接［個人面接］（10分程度/50点満点）	●書類審査 ●理解力の確認（マークシート方式） ●小論文［500字～600字］（60分/50点満点） ●面接［個人面接］（10分程度/50点満点）	●面接［個人面接］（10分程度/50点満点）	

※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし，小論文及び面接には最低基準点を設け，基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超えていても不合格とします。

◆詳細については，在籍の付属学校または教務課（入試係）にお問い合わせください。
◇入試に関するお問合せ先　教務課（入試係）TEL：047-360-9339

＊1.午後１時にインターネットによる合否案内。

入試スケジュール

＊詳細はこちらをご覧ください。

校友枠選抜
【専願】

（第1期）出願期間 9/1(月)～10/10(金) → 選考日 10/18(土) → 合格発表 11/4(火)

（第2期）出願期間 11/14(金)～12/5(金) → 選考日 12/13(土) → 合格発表 12/19(金)

詳しくはP.30

新設 外国人留学生選抜
【併願】

（第1期）出願期間 9/1(月)～9/26(金) → 選考日 10/18(土) → 合格発表 10/24(金)

（第2期）出願期間 11/14(金)～11/21(金) → 選考日 12/13(土) → 合格発表 12/19(金)

詳しくはP.30

総合型選抜
【専願】

（第1期）出願期間 9/1(月)～10/10(金) → 選考日 10/18(土) → 合格発表 11/4(火)

（第2期）出願期間 11/14(金)～12/5(金) → 選考日 12/13(土) → 合格発表 12/19(金)

（第3期）出願期間 2/20(金)～3/13(金) → 選考日 3/18(水) → 合格発表 3/23(月)

詳しくはP.29

学校推薦型選抜
指定校制・公募制
【専願】

出願期間 11/1(土)～11/7(金) → 選考日 11/15(土) → 合格発表 12/1(月)

詳しくはP.29

編入学試験（2年次）（3年次） 新設
【併願】

（第1期）出願期間 11/1(土)～11/7(金) → 選考日 11/15(土) → 合格発表 12/1(月)

（第2期）出願期間 2/20(金)～3/13(金) → 選考日 3/18(水) → 合格発表 3/23(月)

詳しくはP.31

日本大学付属高等学校等
基礎学力選抜 【専願】
付属特別選抜 【専願】
国公立併願方式 【併願】
追加募集 【専願】

基礎学力選抜 付属特別選抜 国公立併願方式 出願期間 11/1(土) → 選考日 11/15(土) → 合格発表 12/1(月)

追加募集 出願期間 12/9(火) → 選考日 12/13(土) → 合格発表 12/19(金)

詳しくはP.32

C共通テスト利用方式
【併願】

（第1期）出願期間 1/5(月)～1/26(月) → 試験日 1/17(土) 18(日) → 合格発表 2/13(金)

（第2期）出願期間 1/5(月)～3/6(金) → 試験日 1/17(土) 18(日) → 合格発表 3/19(木)

詳しくはP.28

N全学統一方式
【併願】

（第1期）出願期間 1/5(月)～1/22(木) → 試験日 2/1(日) → 合格発表 2/9(月)

（第2期）出願期間 1/5(月)～2/25(水) → 試験日 3/4(水) → 合格発表 3/12(木)

詳しくはP.27

A個別方式
【併願】

（第1期）出願期間 1/5(月)～1/26(月) → 試験日 2/4(水) → 合格発表 2/9(月)

（第2期）出願期間 1/5(月)～2/20(金) → 試験日 2/28(土) → 合格発表 3/6(金)

詳しくはP.27

学費（令和8年度）※諸会費含む

松戸歯学部

項目	【1年次】		【2年次】		【3～6年次】	
	前学期（入学手続時納入金）	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 ＊2
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実料 ＊1	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	500,000円	—	—
後援会入会金	100,000円	—	—	—	—	—
後援会費	30,000円	—	30,000円	—	30,000円	—
校友会準会員費	10,000円	—	10,000円	—	10,000円	—
合計	3,890,000円	3,150,000円	2,690,000円	2,650,000円	2,190,000円	2,150,000円
学年合計	7,040,000円		5,340,000円		4,340,000円	

＊1.一般選抜時の成績優秀者は初年度の教育充実料（200万円）を減免する制度があります。＊2.卒業年度の後学期には，上表のほかに校友会正会員費（1万円）を徴収します。

大学院 松戸歯学研究科

項目	【1年次】			【2～4年次】	
	前学期（入学手続時納入金）		後学期	前学期	後学期 ＊2
	学内者 ＊1	学内者以外			
入学金	—	200,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備資金	—	500,000円	—	—	—
校友会準会員費	10,000円	10,000円	—	10,000円	—
合計	360,000円	1,060,000円	350,000円	360,000円	350,000円

＊1.「学内者」とは，日本大学を卒業した者または日本大学大学院を修了した者をいいます。＊2.修了年度の後学期には，上表のほかに校友会正会員費（1万円）を徴収します。

各種奨学金制度

本学部には充実した奨学金制度があります。学業成績・人物が優秀な学生や，経済的理由により修学が困難な学生に対し，様々な奨学金を給付・貸与しています。

＊詳細はこちらをご覧ください。

学内の奨学金制度

奨学金名		対象	条件	金額	募集時期 ＊1	種別
日本大学特待生		学部2年次生以上	学業成績・人物共に優秀な者（公募ではありません）。	甲種：授業料1年分相当額の半額及び図書費 乙種：授業料1年分相当額の半額	—	給付
松戸歯学部鈴木奨学金	第1種	学部2～6年次生・大学院生	学業成績・人物ともに優れている者。	年額10万円	4～5月	
	第2種	学部・大学院生	経済的理由により学費の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	年額24万円	5月	
松戸歯学部大竹奨学金		学部6年次生・大学院生	学業・人物ともに優れた者，もしくは，課外活動において顕著な成果を収め学部等の発展に貢献したと認められる者。	年額10万円		
日本大学古田奨学金		大学院生	学業成績・人物共に優秀な者。	年額20万円		
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金						
日本大学創立130周年記念奨学金（第2種）		学部生	経済的支援を必要とし，修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者（外国人留学生を除く）。	年額30万円	6月	

学外の奨学金制度

奨学金名		対象	条件	金額	募集時期 ＊1	種別
日本学生支援機構奨学金 ＊2	第一種［無利子］	学部・大学院生	特に優れた学生で，経済的理由により著しく修学困難な者。	学部生：2・3・4・5万4千円の中から選択（自宅通学）。2・3・4・5・6万4千円の中から選択（自宅外通学）。 大学院生：8万円もしくは12万2千円。	9月	貸与
	第二種［有利子］		第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者。	学部生：2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・16万円から選択。 大学院生：5・8・10・13・15万円から選択。		
	給付型	学部生	収入が一定額以下であること（学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要があります）。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・入学金も免除又は減額。 多子世帯（生計維持者が扶養する子供が3人以上）で，条件を満たしていれば対象になります。（対象になるには資産の条件など細かい条件がありますので，JASSOのホームページを必ず確認してください。）	世帯収入に応じた4段階の基準で支援額が決定。 多子世帯の条件を満たしている場合は，授業料は年間70万円の支援，入学金は26万円を支援。	4月・9月	給付
民間企業提携教育ローン		学部・大学院生	詳細は学生課までお問い合わせください。		随時	給付・貸与
地方公共団体・各奨学財団奨学金			募集期間や内容は様々ですので，詳細は学生課掲示板にて随時お知らせします。			

＊1.募集時期は目安です。正式な期限等については，学生課掲示板にてお知らせいたします。＊2.独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）のホームページを御参照ください。 https://www.jasso.go.jp